

上編索引（生薬、一部方剤などを含む）

ア

- 赤葡萄酒（アカブドウシュ） 上-35、43
赤のブドウ酒
阿膠（アキョウ） 上-105
ウシやロバの皮を水で加熱抽出して作られる膠（ゼラチン）
阿魏（アギ） 上-54、60、68、69、71、89、126
セリ科のアギの根茎から得られる樹脂
梓葉（アズサバ） 上-33
梓（アズサ、樹種の名）の葉
阿片（アヘン） 上-58、135、137
ケシの未熟果実から採取される乳汁の乾燥物。阿芙蓉とも称される
亜刺比亜膠（アラビアコウ） 上-62、105、134、135
マメ科のアラビアゴムノキの樹皮の傷口からの分泌物を乾燥させたもの
亜刺比亜朮膜（アラビアゴム） 上-48、118
マメ科アラビアゴムノキの樹皮の傷口からの分泌物を乾燥させたもの
栗殻舍利別（アワガラセイローブ） 上-55、65、69、110
栗は、イネ科エノコログサ属の多年草でその殻を用いて製したシロップ剤
栗子硝石（アワコショウセキ） 上-136
栗粒のように細かい硝石（硝酸塩鉱物の一種で、化学組成は硝酸カリウム（ KNO_3 ））
安息鍊（アンソクレン） 上-45
安息を練って丸剤にしたもの

イ

- 硫黄（イオウ） 上-134
イオウ（S）のこと
硫黄精（イオウセイ） 上-82
希硫酸のことで、硫酸と蒸餾水で製する
葦莖（イケイ） 上-62
芦根（ロコン）とも呼ばれるイネ科のヨシ（アシ）の根茎（芦根）および茎（葦莖）
無花果（イチジク） 上-62
クワ科のイチジクの落葉高木

ウ

- 烏頭（ウズ） 上-37、67、69、111
キンポウゲ科カラトリカブトの母根
烏頭熬膏（ウズゴウコウ） 上-69
烏頭を煮詰めて膏薬にしたもの
雨前茶（ウゼンチャ） 上-38
穀雨（節気の一つ）より前に摘んだお茶を雨前茶（ウゼンチャ）と言う
烏薬（ウヤク） 上-037、086
クスノキ科のテンダイウヤクの肥大した根
瓜子（ウリコ） 上-62
ひまわりの種
芸香（ウンコウ） 上-30、32、36、37、38、51、58、110、114
ミカン科ヘンルーダの全草の乾燥物

エ

- 依蘭苔（エイランタイ） 上-44、45、58
苔の一種ウメノキゴケ科の地衣類の乾燥物
- 営実（エイジツ） 上-129
ノイバラまたその他近縁バラ科の植物の偽果または果実
- 鉛華（エンカ） 上-71、99
白色顔料で主に塩基性炭酸鉛（ $2\text{PbCO}_3 \cdot \text{Pb}(\text{OH})_2$ ）で、鉛粉とも云われる
- 烟草（エンソウ） 上-41
タバコの葉
- 烟劑（エンザイ） 上-97
薬を煙にして、その煙で治療する薬劑の総称

オ

- 大麦（オオムギ） 上-32、51、61、63、64、76、77、78、82、105、110、119、136
イネ科の大麦の種子
- 黄芪（オウギ） 上-33、43
マメ科キバナオウギ及びナイモウオウギなどの根の乾燥物
- 黄芪（オウギ） 上-101
黄芪と同じもの
- 黄芩（オウゴン） 上-48、76、87、101、102、118
シソ科コガネバナの根の乾燥物
- 黄石（オウセキ） 上-26、46、112
硫化ヒ素
- 黄連（オウレン） 上-24、48、102、118
キンポウゲ科セリバオウレンなどの根茎の乾燥物
- 陰陽湯（オンミョウトウ） 上-136
東洋医学において熱湯と冷水から製した水を指す別名

カ

- 海塩精（カイエンセイ） 上-134
海の塩をアルコールに浸したもの？
- 槐心黒木（カイシンコクボク） 上-84、92、93、110
槐（カイ、エンジュのこと）の木を中心にある黒色の心材のこと？
- 回青橙汁舎利別（カイセイトウジルセーローブ） 上-079
回青橙（カイセイトウ、ダイダイとも言われるミカン科の常緑樹）の果実を用いて製したシロップ剤
- 海葱耐（カイソウチュウ） 上-131
海葱（ユリ科の多年草）の鱗茎（りんけい）を焼酎に浸けたもの？
- 瓜蒂散（カイテイサン） 上-115
瓜蒂（ウリ科のマクワウリの蒂（へタ））を用いて散剤としたもの
- 蠣灰水（カキバイスイ） 上-64
カキの殻の塩分を除き、乾燥もしくは焼成してから砕いた後に水を加えたもの
- 榭寄生（カシワキセイ） 上-67
ヤドリギ科（ビャクダン科）のヤドリギの漢名
- 化蟲丸（カチュウガン） 上-125
腸内寄生虫や腹痛、嘔吐などに用いる駆虫剤
- 藿香（カッコウ） 上-115

シソ科パチョリの地上部の乾燥物
 葛根（カクコン） 上-37、110
 マメ科クズの根の乾燥物
 石長生（カツベラソウ） 上-62、65
 イノモトソウ科の常緑多年草でハコネソウとも言われる
 樺皮（カバカワ） 上-33
 カバノキ属の木の樹皮
 蜀葵（カラアオイ） 上-24、45、61、62、64、65、76
 アオイ科の多年草植物でタチアオイの古名
 括蓼根（カロウコン） 上-77
 ウリ科カラスウリの皮層を除いた根
 括蓼仁（カロウニン） 上-87
 ウリ科カラスウリの種子
 煨鹿角（カロツカク） 上-47、102
 鹿角を焼いたもの
 葛越布の（カエプーテ） 上-38
 フトモモ科カヤブテの葉からとれる油
 乾姜（カンキョウ） 上-42、47、48、50、58、86、102
 ショウガの根茎の乾燥物
 葶菜酒（カンサイシュ） 上-90
 葶菜（イヌガラシとも呼ばれ、水田の畔や河川敷に生えている）にお酒を加えたもの
 甘硝石精（カンショウセキセイ） 上-67、70、81、131
 アルコールに硝酸を少量加えたもの、亜硝酸エチル（ $\text{CH}_3\text{CH}_2\text{ONO}$ ）とも云われる
 乾地黄（カンジオウ） 上-32、103
 地黄（ゴマノハグサ科のジオウの根茎）を乾燥したもの
 甘草（カンゾウ） 上-33、42、44、50、60、61、62、63、64、76、87、88、93、102、105、110、111、117、127、137、138、139
 マメ科ウラルカンゾウやスペインカンゾウの根などの乾燥物
 甘艸（カンゾウ） 上-61
 甘草のこと
 甘草熬膏（カンゾウゴウコウ） 上-65
 甘草を煮詰めて膏薬にしたもの
 欵冬（カントウ） 上-44、61
 蔞（ふき）の別名で、キク科のフキタンポポ
 甘乳酪（カンニュウラク） 上-133、137
 牛乳や羊乳を加工して甘くした乳製品
 甘巴且杏油（カンハタンキョウユ） 上-136
 芳香性の樹脂系成分（甘巴）と杏仁油を合わせた外用剤？
 莪朮（ガジュツ） 上-47
 ショウガ科ガジュツの根茎

キ

機那（キーナ） 上-30、31、32、33、35、45、49、53、82、101、103、105
 アカネ科キナ、またはその同属植物の樹皮キニーネの原料にもなる
 桔梗（キキョウ） 上-32、61、62、105
 キキョウ科キキョウの細根を除いた根の乾燥物
 枳殼（キコク） 上-56
 ミカン科カラタチの落葉低木の未成熟果実の乾燥物

蜚針（キシン） 上-97

ヒルを用いて治療すること

蜚鍼（キシン） 上-80

ヒルを用いて治療を行うこと

枳實（キジツ） 上-117

みかんやダイダイなどの未熟果実の乾燥物

芎藭散（キュウキサン） 上-121

センキュウとダイオウを配合した散剤

羌活（キョウカツ） 上-37、38、49、56、84、85、86、110、111

セリ科キョウカツの根及び根茎の乾燥物

姜活（キョウカツ） 上-102

セリ科キョウカツの根及び根茎の乾燥物

殭蚕（キョウサン） 上-37

白殭蚕（ビヤクキョウサン）とも言われ、白殭菌（ビヤクキョウキン）に感染したカイコの幼虫の硬直死した虫体を乾燥したもの

杏仁（キョウニン） 上-61、63、111

バラ科アンズなどの種子の乾燥物

錦葵根（キンキコン） 上-62

アオイ科ゼニアオイ（錦葵）の根茎

錦葵葉（キンキヨウ） 上-25、61

アオイ科ゼニアオイの葉

ク

梔子（クチナシ） 上-55、56、118、120

アカネ科の常緑低木クチナシの乾燥果実

苦楝皮（クレンビ） 上-124

センダンおよびトウセンダンの樹皮、根皮

ケ

荊艾（ケイガイ） 上-38、111、120

シソ科のケイガイの花穂

桂皮（ケイヒ） 上-31、32、42、43、47、48、49、58、84、85、86、87、101、102、110、111、128、129

クスノキ科ケイの乾燥樹皮

桂皮酎（ケイヒチュウ） 上-34

桂皮を焼酎に浸したもの

瓊蚌散（ケイボウサン） 上-97、98

貝殻由来の鉱物性物質を主体とした粉薬

罌粟（ケシ） 上-62、133、135

ケシ科ケシの果実

纈草（ケツソウ） 上-30、31、32、36、37、38、43、48、56、124、128

オミナエシ科カノコソウの根及び根茎

牽牛子（ケンゴシ） 上-127

ヒルガオ科アサガオの種子の乾燥物

醎醋（ゲンサク） 上-134、135

濃い酢

コ

香附（コウブ） 上-101
 香附子（コウブシ）の別名
 香附子（コウブシ） 上-47、48、86、87
 カヤツリグサ科ハマスゲの根茎の乾燥物
 琥珀油（コハクユ） 上-40、90、132
 琥珀を乾留して得られる、淡黄色で不快な臭いのある揮発性の液体
 枯礬（コバン） 上-58、133、138
 明礬を加熱して水分を蒸発させたもの（無水物）
 呉茱萸（ゴシュユ） 上-31、50、111、128
 ミカン科ゴシュユの未成熟果実
 牛皮消（ゴヒショウ） 上-88
 キュチクトウ科イケマの根茎
 五味子（ゴミシ） 上-77
 マツブサ科チョウセンゴミシの果実の乾燥物

サ

柴胡（サイコ） 上-87、101、102、111
 セリ科ミシマサイコなどの根の乾燥物
 細辛（サイシン） 上-50、111
 ウマノスズクサ科ウスバサイシンまたはケイリンサイシンの根及び根茎の乾燥物
 薩撒弗刺斯（サッサfras） 上-93、110
 クスノキ科の落葉高木
 泊夫藍（サフラン） 上-38、43、44、46、54、60、70、91
 アヤメ科サフランの柱頭の乾燥物
 山豆根（サンズコン） 上-86
 マメ科ベトナミーズソフォーラの根
 山奈（サンナ） 上-88
 ショウガ科バンウコンの根茎を輪切りにして、乾燥したもの

シ

紫圓（シオン） 上-120
 キク科シオンの根および根茎の乾燥物
 失鳩苔（シキウタ） 上-87
 ドクニンジンの全草
 紫蘇（シソ） 上-31、37、56、63、64、85、86、87、110、111、128
 シソ科シソの葉、枝先及び茎枝
 紫檀（シタン） 上-93
 マメ科の銘木として利用される数種の木の総称
 芍薬（シャクヤク） 上-42、43、60、61、87、102、103、118
 ボタン科シャクヤクの根の乾燥物
 鷓鴣菜（シャコサイ） 上-124
 海藻コノハノリ科セイヨウアヤギヌの全藻
 椒（シヨウ） 上-50
 サンショウの古名
 小茴香（シヨウウイキョウ） 上-50、55、56、130
 セイ科ウイキョウの成熟果実
 小茴香根（シヨウウイキョウコン） 上-130
 小茴香の根

小茴香油（ショウウイキョウユ） 上-57
 小茴香から得られた油成分
 小茴香露（ショウウイキョウロ） 上-57、132
 小茴香を水に浸したもの
 生姜（ショウキョウ） 上-43、49、50、55、56、63、85、86、101、102、103、110、111、112、
 117、118、120、124、128
 ショウガ科ショウガの乾燥根茎
 硝石（ショウセキ） 上-62、76、82、119、127、133、135、136
 硝酸塩鉱物の一種で、化学組成は硝酸カリウム（KNO₃）
 硝石精（ショウセキセイ） 上-134
 硝石に緑礬油（緑礬（硫酸塩鉱物の一種）を加熱、蒸留して得られて溶液）と蒸留水を加え蒸
 留した溶液
 菖蒲根（ショウブコン） 上-32、49、82、101
 サトイモ科ショウブの根茎の乾燥物
 升麻（ショウマ） 上-101
 キンポウゲ科サラシナショウマなどの根茎の乾燥物
 商陸（ショウリク） 上-127
 ヤマゴボウ科ヤマゴボウの根の乾燥物
 小連翹（ショウレンギョウ） 上-44
 オトギリソウ（オトギリソウ科オトギリソウの全草の乾燥物）の別名
 蜀葵根（ショクキコン） 上-25、61、62、64、76
 蜀葵（アオイ科ショクキの中国名（和名タチアオイ））の根の乾燥物
 蜀葵舍利別（ショクキセーローブ） 上-45、65
 蜀葵を含むシロップ剤
 蜀羊泉茎（ショクヨウセンケイ） 上-44、92
 蜀羊泉（ナス科に属する白英（白莫））の茎
 薯蕷（ショヨ） 上-32
 ながいもの漢名
 刺絡（シラク） 上-67、80、83、91、109、135
 皮膚やツボに浅く鍼をうつこと
 地黄（ジオウ） 上-62、64、105
 ガマノハグサ科のジオウ、アカヤジオウ、カイケイジオウなどの塊根
 寔吉打力思（ジキターリス） 上-68
 ゴマノハグサ科キツネノテブクロの葉の乾燥物
 麝香丸（ジャコウガン） 上-39、44、70、91、113
 乾燥した麝香（ジョコウジカの雄の麝香腺分泌物）を用いて製した丸剤
 麝草（ジャソウ） 上-36、49、58、82、101
 麝香草のことか？ 麝香草はシソ科の多年草
 潤燥漿（ジュンゾウショウ） 上-79
 乾きの状態を改善する漿剤の総称
 常山（ジョウザン） 上-114
 ユキノシタ科ジョウザンの根の乾燥物
 沈香（ジンコウ） 上-37
 ジンチョウゲ科ジンコウやシナジンコウなどの材質中に黒色の樹脂が沈着したもの
 人糞汁（ジンプンジル） 上-139
 人糞を用いて製した汁？

ス

水楊梅（スイヨウバイ） 上-30、43、101、128、129

バラ科のダイコンソウの全草の乾燥物

瑞香皮（ズイコウヒ） 上-93

ズイコウはジンチョウゲ（沈丁花、ジンチョウゲ科の常緑低木）の漢名でその皮

セ

茜根（セイコン） 上-51、67、87、88、130

アカネ科の茜（アカネ）の根及び根茎

精大麦（セイダイバク） 上-32、51、61、63、64、76、77、78、105、110

大麦を精製したもの

赤小豆（セキショウズ） 上-127

マメ科アズキおよびツルアズキの成熟種子

石長生舎利別（セキチョウセイセイローブ） 上-65

石長生（カツベラソウ、イノモトソウ科の常緑多年草、別名ハコネソウ）に甘草と砂糖を加えてシロップ状に製したもの

石蜜（セキミツ） 上-32、39、58、76、77、82、119、133、135

ミツバツが岩間に貯えた蜜

石灰水（セッカイスイ） 上-64、96、97、99

水酸化カルシウムの水溶液のこと

石膏（セッコウ） 上-63、77、120、128、129

硫酸カルシウムを主成分とする鉱物

接骨木花（セッコツボクカ） 上-110

接骨木はニワトコ（スイカズラ科ニワトコ属の落葉低木）のことでその花

接骨木葉（セッコツボクヨウ） 上-127

ニワトコの葉

雪蠶蛻（セツサンゼイ） 上-106

白く良質な蚕の抜け殻（蠶蛻）のこと？

仙遺糧（センイリョウ） 上-93、94

ユリ科スミラックス・グロッサの根茎の乾燥物

芎藭（センキュウ） 上-37、38、87、103、111、120

セリ科センキュウの根茎

ソ

栳葢舎利別（ソウシンセーローブ） 上-79

桑の実を用いて製したシロップ剤

蒼朮（ソウジュツ） 上-42、47、50、56、101、102、103、128、129

オオバナオケラやホソバオケラの根茎の乾燥物

栳白皮（ソウハクヒ） 上-61、62

クワの根皮の乾燥物

蘼木（ソボク） 上-87

蘇木（ソボク）：マメ科ノスオウの心材の乾燥物

タ

大棗（タイソウ） 上-63、129

ナツメの成熟果実の乾燥物

澤漆（タクシツ） 上-127

トウダイグサ科トウダイグサの全草の乾燥物

澤瀉（タクシャ） 上-127、129

オモダカ科のサジオモダカの球茎
煙草舍利別（タバコセーロープ） 上-116
タバコの葉を用いて製したシロップ剤
荅麻林度（タマリンド） 上-119
マメ科の常緑高木で、その果実を用いる
単味底野迦（タンミテリアカ） 上-100、104
底野迦（テリアカ）とは数種の薬を蜂蜜で練り合わせた赤い膏薬
大黄（ダイオウ） 上-117、118、119、120、124
タデ科ダイオウ属のショウヨウダイオウ、タングートダイオウ、バテイダイオウなどの根茎

チ

竹茹（チクジョ） 上-50、62
ハチク、マダケなどの稈（かん）の内層
朮花（チュンカ） 上-129
センダン科チュンの花
朮仁（チュンニン） 上-61、86
朮はセンダン科の落葉高木でその種子の乾燥物
猪苓（チョレイ） 上-129
サルノコシカケ科チョレイマイタケの菌核の乾燥物
陳皮（チンピ） 上-47、48、63、85、86、87、101、102
ウンシュウミカンやマンダリンオレンジの成熟した果皮の乾燥物

テ

鐵屑酎（テツセツチュウ） 上-34、128
鉄くずをお酒に浸けたもの
底野迦（テリアカ） 上-36、69、113
猪脂など数種の薬剤を蜂蜜で練り合わせたもの
天麻（テンマ） 上-37、47
ラン科オニノヤガラの塊茎の乾燥物
泥菖散（デイショウサン） 上-83
泥菖（ショウブ科のショウブ根茎）を散剤としたもの
泥菖蒲根（デイショウブコン） 上-36
ショウブ科のショウブ根茎

ト

當歸（トウキ） 上-47、87、103、118
セリ科トウキの根の乾燥物
橙皮（トウヒ） 上-32、48、55、56、77、82、118、130
橙の成熟果実の皮を乾燥したもの
篤耨油（トクドウユ） 上-131
篤耨は外来語の音写と考えられることから、南方交易で入った芳香性の樹脂と思われる
吐根（トコン） 上-135
アカネ科トコンの根及び根茎の乾燥物
吐酒石（トシュセキ） 上-135
アンチモン化合物及びそれを含有するもので、主成分は酒石酸アンチモニルカリウム
($\text{KSb}(\text{C}_4\text{H}_2\text{O}_6) \cdot 1.5\text{H}_2\text{O}$)
杜松子（トショウシ） 上-49、85、102、127、128
ヒノキ科ネズの実

杜松木（トショウモク） 上-110
ヒノキ科に属する針葉樹
鳥藥（トリヤク） 上-49
クスノキ科テンダイウヤクの根
硃砂糕（ドウシャコウ） 上-55、89、100、132
硃砂は塩化アンモニウムの古名で、これを餅状にしたもの（糕）
土木香（ドモッコウ） 上-134
キク科の多年草オオグルマの根を乾燥したもの

ニ

肉豆蔻（ニクズク） 上-49
ニクズク科ニクズクの種皮を除いた種子
乳酪清（ニュウラクセイ） 上-136
人参（ニンジン） 上-32、42、43、47、48、101、103、128
ウコギ科オタネニンジンの細根を除いた根を乾燥したもの
忍冬（ニンドウ） 上-33
スイカズラ（忍冬、スイカズラ科の常緑つる性の木）の漢名

ネ

粘魚鬚（ネンギョシュ） 上-63、120、130
ユリ科ヤマカシユウの根と根茎

ハ

薄荷（ハッカ） 上-24、30、64、111
シソ科ハッカの地上部
薄荷（ハッカ） 上-38、43、47、49、51、55、88、118、120
薄荷の異字体
半夏（ハンゲ） 上-47、48、50、63、111
サトイモ科カラスビシャクの塊茎の乾燥物
斑猫毒（ハンミョウドク） 上-133、135
斑猫（ハンミョウ）はハンミョウ科に分類される昆虫の総称で、毒をもっているのはツチハンミョウ
梅肉汁舎利別（バイニクジルセーローブ） 上-78
梅肉汁を用いて製したシロップ剤
梅肉舎利別（バイニクセーローブ） 上-119
梅肉を用いて製したシロップ剤
麥門冬（バクモントウ） 上-62、63、77、105
ユリ科の多年草、ジャノヒゲやその同属植物の塊根
菝葜（バッカツ） 上-63、120、130
サルトリイバラ科サルトリイバラの根茎
礬桂酎（バンケイチュウ） 上-41、44、53、60、71

ヒ

比玉石藥莫私（ヒヨシヤムス） 上-68
蜀羊泉莖（ヒヨドリジョウゴケイ） 上-44、92

ホロシとも言われる山野に自生する灌木様草本
白芷（ビャクシ） 上-32、50、88、129
セリ科ヨロイグサの根の乾燥物
白檀（ビャクダン） 上-110
ビャクダン科ビャクダンの木質心材
白朮花（ビャクチュンカ） 上-129
センダイ科の落葉高木、チャンチンの白い花
楨榔（ビンロウ） 上-31、47、56、87、128
ヤシ科のビンロウ（和名：ビンロウジュ）の種子

フ

覆盆子舎利別（フクボシンセーローブ） 上-79
フクボシン（バラ科ゴシヨイチゴの未成熟集合果の乾燥物）を用いて製したシロップ剤
浮萍（フヒョウ） 上-110、111
サトイモ科のウキクサの全草
芙蓉丸（フヨウガン） 上-68
芙蓉（アオイ科の植物）を用いて製した丸剤
茯苓（ブクリョウ） 上-32、42、47、48、50、85、103、118、128、129、134
松の根に寄生するサルノコシカケ科のマツホドの菌核を乾燥させたもの
附子（ブシ） 上-32、36、42、48
キンポウゲ科シナトリカブトの子根の乾燥物
沸手柑瓢舎利別（ブッシュカンジョウセーローブ） 上-79
沸手柑（ブッシュカン、はミカン科の一種で、果実の先端が分岐している）の分岐の部分（瓢）
を用いて製したシロップ剤
葡萄酒（ブドウシュ） 上-83、104
ブドウ酒

へ

鼈甲（ベッコウ） 上-50、105
ウミガメの一種タイマイの甲羅の加工品

ホ

蒲公英（ホコウエイ） 上-48、51、85、87、88、90
キク科タンポポ属の帯根全草の乾燥物
剥骨何突（ホツクホウト） 上-92
防已（ボウキ） 上-111、128
ツヅラフジ科オオツヅラフジのツル性の茎や根茎の乾燥物
茅根（ボウコン） 上-58、63、84、92、94、110、120、127、130
イネ科チガヤの細根と鱗片葉をほとんど除いた根茎
芒硝（ボウショウ） 上-68、117、118
硫酸ナトリウムの10水和物($\text{Na}_2\text{SO}_4 \cdot 10\text{H}_2\text{O}$)、または硫酸マグネシウムの7水和物($\text{MgSO}_4 \cdot 7\text{H}_2\text{O}$)の俗名。
防風（ボウフウ） 上-32、37、111
セリ科ボウフウの根および根茎
牡丹皮（ボタンピ） 上-32、86
ボタン科ボタンの根皮の乾燥物

マ

玫瑰（マイカイ） 上-33、34、82、101、104、119

玫瑰はバラ科ハマナスのことで、主に花蕾が用いられる

麻黄（マオウ） 上-63、111、128、129

マオウ科マオウなどの地上茎の乾燥物

茉莉酎（マツリチュ） 上-124、131

モクセイ科マツリの主に花を焼酎に浸けたもの

蔓菁糊（マンセイノリ） 上-80

マンセイはアブラナ科カブの別名で、マンセイから製した糊

ミ

薺苳汁（ミノハシル） 上-139

ミノハはソバナ（蕎麦菜）の古名でそれから作った汁

モ

猛汞（モウコウ） 上-133

塩化水銀(II) HgCl_2 のことで、昇汞とも言われる

木茱（モクシュ） 上-31、32、127、128

主に植物の茱萸（しゅゆ／ぐみ）の木を指す

木香（モッコウ） 上-48、50、56、115

キク科モッコウの根の乾燥物

ヤ

野艾蒿（ヤガイコウ） 上-48、85

ケショウヨモギ（化粧蓬）の中国名で、キク科の多年草

射干（ヤカン） 上-86

アヤメ科ヒオウギの根茎の乾燥物

益智（ヤクチ） 上-47、56、115

ショウガ科の多年草で果実を陽乾したもの

山牛蒡根（ヤマゴボウコン） 上-93、94

ヤマゴボウはヤマゴボウ科の多年草で、その根を乾燥して用いる

ユ

熊膽丸（ユウタンガン） 上-35、52

クマ科のツキノワグマやヒグマの胆汁を乾燥させた熊膽を含む丸剤

ヨ

薏苡（ヨクイ） 上-62

ハトムギ、またジュズダマの漢名

薏苡仁（ヨクイニン） 上-87、88

イネ科のハトムギの種皮を除いた種子を乾燥したもの

ラ

雷遺塩（ライイエン） 上-85、90、129、130、132

硝石と硫黄花を加熱して製したもの

藍葉（ランヨウ） 上-138

藍の葉

リ

- 龍膽（リュウタン） 上-30、47、48、49、51、53、84、85、88、102
リンドウ科トウリンドウの根および根茎の乾燥物
- 龍腦（リュウノウ） 上-39、71、81、82、113、134、135、136、139
フタバガキ科のリュウノウジュの樹脂を加工したもの
- 良姜（リョウキョウ） 上 47、49
- ショウガ科リョウキョウの根茎の乾燥物
- 涼蜜（リョウミツ） 上-78、79、123
蜜を冷やしたもの

レ

- 麗春花（レイシュンカ） 上-64
ケシ科の麗春花（和名ヒナゲシ）の花または全草
- 羚羊角（レイヨウカク） 上-62
ウシ科のサイガの角
- 連翹（レンギョウ） 上-120
モクセイ科レンギョウやシナレンギョウの果実の乾燥物
- 連銭草（レンセンソウ） 上-50
シソ科カキドオシの花期の全草を乾燥させたもの

ロ

- 蘆薈（ロカイ） 上-121、125
アロエのこと
- 鹿角（ロッカク） 上-32、40、48、49、51、63、64、100
シカの角を乾燥させ粉末としたもの